



2024年2月19日

各位

会社名 株式会社 平和堂
代表者名 代表取締役社長執行役員CEO 平松 正嗣
コード番号 8276 (東証 プライム)
問合せ先 執行役員財務部長 和田 哲政
TEL 0749-23-3111 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年9月22日に公表いたしました2024年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年2月期通期連結業績予想の修正 (2023年2月21日～2024年2月20日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	427,000	13,000	14,100	8,300	158.25
今回修正予想(B)	425,900	13,000	14,100	6,700	127.74
増減額(B-A)	△1,100	0	0	△1,600	—
増減率(%)	△0.3	0.0	0.0	△19.3	—
(ご参考)前期実績	415,675	11,279	13,069	7,516	143.31

(2) 2024年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2023年2月21日～2024年2月20日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	382,000	12,100	7,400	141.09
今回修正予想(B)	380,800	11,700	5,400	102.96
増減額(B-A)	△1,200	△400	△2,000	—
増減率(%)	△0.3	△3.3	△27.0	—
(ご参考)前期実績	371,282	12,311	8,240	157.11

2. 修正の理由

(1) 2024年2月期通期連結業績予想の修正理由

2024年2月期につきまして、秋以降の高気温推移により衣料品などの季節性商品の販売が低調であったことと、2024年1月1日に発生した能登半島地震発生による営業機会縮小のために、営業収益は、2023年9月22日公表の連結業績予想よりも低下する見込みです。営業利益・経常利益においては、平和堂単体は営業収益低下に伴い売上総利益高が想定を下回ったものの、連結子会社各社は想定よりも好調に推移していることで、従来予想通りになる見込みです。しかしながら、当該災害により石川県、富山県および福井県の店舗におきまして、配管の破損や天井ボードの落下および商品の破損等の被害があり一部の店舗にて休業いたしました。現時点で判明した当該災害に起因する特別損失の計上額は、約1,100百万円になることが判明しました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、災害以外の案件も含めて特別損失を約4,100百万円計上するため、2024年2月期の業績が従来予想を下回る見込みになりましたので、上記の通り業績予想を下方修正いたします。

(2) 2024年2月期通期個別業績予想数値の修正理由

連結業績予想の修正理由と同様、秋以降の高気温推移により衣料品などの季節性商品の販売が低調であったことと、2024年1月1日に発生した能登半島地震発生による営業機会縮小のために、営業収益は、2023年9月22日公表の個別業績予想よりも低下する見込みです。経常利益は、営業収益低下に伴い売上総利益高が想定を下回るため、従来予想を下回る見込みです。

当期純利益につきましては、現時点で判明した当該災害に起因する特別損失の計上額は、約1,000百万円になることが判明しました。加えて、翌期以降にスクラップ&ビルドによる閉店が決定したことと遊休地の評価を見直したことで、年初に見込んでいた案件も含めて特別損失を約3,500百万円計上したため、2024年2月期の業績が従来予想を下回る見込みになりましたので、上記の通り業績予想を下方修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上